



参政党新宿まなびとまもりの会では、新宿区政に関する情報や区議会報告の他、区民のみなさまのお役に立てる情報の発信をしていきます。

今の歴史教科書で本当にいいの！？

こんにちは。新宿区議会議員の青木ひとみです。

学校では歴史の授業は好きでしたか。どんな教科書を使っていたか覚えていますか。教科書は単なる情報の提供手段ではなく、子供たちの世界を広げ、自立的に学ぶための基盤を築くものです。

教育基本法で定めている教育の目標のひとつに「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」とあります。また、中学校学習指導要領の社会歴史的分野の目標には「国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。」とあります。



令和6年2月6日 記者会見にて

左から おぎのあやか（品川区議会議員）／坂田れい子（板橋区議会議員）／とよ島くにひろ（港区議会議員）／ももかわ 一郎（練馬区議会議員） 青木仁美（新宿区議会議員）

今の歴史教科書で本当にこの目標が達成できるのでしょうか。

我が会派としては現行の歴史教科書の内容や採択に関して問題意識をもっています。その件について2月に東京都内の他区の議員とともに記者会見を開催しました。現在採択されている教科書の多くは自虐史観にいろどられたものです。大東亜戦争前後の日本の状況については、近年研究も進み、新たな事実が公表されています。日本が領土的野心からアジアの国々に攻め込み無謀な戦争をしたという説に異を唱える研究者も多くいます。専門家の間でも意見が分かれるような、複数の見方がある出来事に対し、一方的な解釈のみを記述した教科書では、多様性のある考え方を育むことができないと危惧を覚えました。



自分自身のアイデンティティを確立する上で歴史はとても重要な要素です。自国を愛する心をもたなければ自分自身を愛することができません。子供たちに自虐史観を植え付けることは彼らの自尊心を損なうこととなります。教科書の採択を始めとして、歴史教育において、こうした目標が達成されるように引き続き声を上げていきます。

令和6年第1回定例会で一般質問をおこないました

令和6年第1回定例会が3月21日に終了しました。

参政党新宿まなびとまもりの会では、教科書採択の公正性と透明性について一般質問をしました。子供たちの知識、価値観、世界観の形成に大きな影響を及ぼす教科書がどのように選定されているのか、しっかり確認する必要があると思っています。

質問1

教科書採択に関する公正性と透明性について

過去には他の自治体で特定の出版社による接待や賄賂などの不適切な事例が発覚したことがありました。教科書採択に関する不正の有無や委員の選定方法、どのように公正性と透明性を担保しているのかを質問しました。

- 1 教科書採択の公正性と透明性を高めるためには何が大切だと考えるか。
- 2 不適切な行為を未然に防ぐために、区ではどのような予防策が実施されているか。

教育長答弁

新宿区教育委員会では、教科書採択において公正確保を徹底し、教科書発行者との関係や採択方法の改善に適切に対応しています。採択に関わる委員は各自が独立した考えを持ち、公正な手続きで採択を行っています。教科書採択に関する事務は教育委員会事務局が取り扱い、不適切な行為が確認された場合には速やかに区教育委員会から東京都教育委員会を通じて文部科学省に報告・相談し、学校や教員に指導を行います。また、教科書発行者に対しても文部科学省から公正確保に関する指導があります。

最新情報は
公式ウェブサイト



青木仁美
X(旧Twitter)



質問2

教科書採択における教育目標の位置づけについて

現行の自虐史観にいろどられた教科書では愛国心を育むという教育目標を達成することができないのではないかと危惧しています。公的に定められた教育目標が、教科書採択の基準として重要なものと位置づけられているのかを質問しました。

- 1 教育基本法や学習指導要領で定められた目標は教科書採択の基準として重要なものと位置づけられているか

教育長答弁

文部科学省検定済教科書は、教育基本法の教育の目標及び学習指導要領の教科の目標に基づいたものとなっています。教科用図書の採択においては、児童生徒が学習で使う際に、教育の目標および教科の目標に到達できるよう内容の選択や構成・分量、読みやすい表現などを採択の基準としています。教育基本法や学習指導要領で定められた目標は、公民としての資質・能力の基礎を育成する上で重要な目標の一つです。これらの教育目標に基づいた学習が行われるよう、引き続き指導・助言してまいります。

区長答弁

我が国と郷土を愛する態度を養い、歴史上の人物と文化遺産を尊重する態度を育むことは、未来を担う子どもたちにとって大切なことであると認識しています。

青木仁美（あおきひとみ）

新宿区議会議員 令和5年4月初当選
参政党新宿まなびとまもりの会代表
関西学院大学文学部哲学科卒業
新宿区山吹町在住



発行元：参政党新宿まなびとまもりの会

162-0801 東京都新宿区山吹町366-1-1304

電話：050-3690-1501

メール：info@aokihitomi.com